

# かかりつけ薬局の知っ得情報 『腎臓 2』



④6

モンを分泌して血圧を調整しています。

今月も前回に引き続き「腎臓」のお話です。前回は、腎臓が体の中でできた老廃物を取り除き、必要な成分を体の中に維持するとても大切な臓器であることをお話しました。

今回は腎臓が老化にも深くかかわっているということをお話します。

漢方に人間の内臓を表す五臓六腑という言葉があります。五臓(肝・心・脾・肺・腎)の中の「腎」には多くの働きがあり、水分代謝(おしっこを作る)のほか、「腎は精を蔵する」といい、生命エネルギー(腎精)を蓄える臓器であると考えられています。

腎精は発育、成長、生殖、抗老化に関わるとされ、腎精が増すことで発育、成長、生殖能力が増し、逆に腎精が減ること(腎虚)で老化現象は起こると考えます。その他にも「腎は骨を主り、髓を生ず」といい、腎精は骨髓を生じ、骨

を作る作用があるとされ、髪は腎の華」とも言われ、髪は血により栄養されて、その根源は腎にあると考えられています。

漢方の五臓の働きは現代医学の同名臓器の働きと必ずしも一致しない長い間考えられてきました。しかし、最近では漢方の腎の働きが、科学的にも説明がつくことが分かっています。

千葉県では様々な職種の治療関係者と行政がタッグを組んで腎臓を守るための取り組みを始めています。そしてその取り組みの橋渡し役となるのが前回ご紹介したCKDシールです。腎臓は健康寿命維持のためにも大切な臓器です。腎臓のことで心配なことがありましたら、かかりつけの医療機関、薬局などにご相談ください。

担当薬剤師 横尾 洋  
問い合わせ ☎047・360・3600 一般社団法人松戸市薬剤師会

漢方相談・健康相談  
**よこお薬局**  
 新松戸南1-151  
 (新松戸駅より 徒歩12分)  
 ☎0120・961・072